

●ルミエールって何?●

「LUMIERE」(ルミエール)とはフランス語で「光」のことです。人権問題に「光」を当てる。様々な人たちの想いに「光」を当てる。ルミエールをそんな情報紙にしたいと思います。多くの人たちの想いに触れ、自分や仲間を大切にすることについて、みんなで考える時間をもつことは、とても大事なことです。そのような、心の交流の場の1つとして、このルミエールを読んでもらえると嬉しいです。

●新年度のスタート、春の詩歌、言葉のもつ力●

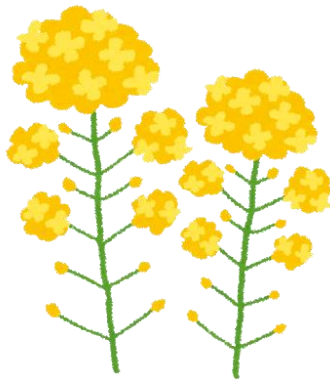
1年生の皆さん、入学おめでとうございます。そして、2,3年生の皆さん、進級おめでとうございます。学校の敷地内にも春らしい光が、たくさん降り注ぎ、桜をはじめ、さまざまな春の草花が、咲き誇っています。今回のルミエールでは、春にちなんだ詩歌を紹介します。

春の海	ひねもすのたり	のたりかな	与謝蕪村
ひらひらと	蝶々黄なり	水の上	正岡子規
両の手に	桃とさくらや	草の餅	松尾芭蕉



このような季節の詩歌を楽しむ文化からもわかるように言葉は人の心を大きく動かす力を持っています。また、それと同時に感じることや思い浮かべる内容が、その人の持つ経験や感性によって、異なってくるという奥深さ、幅の広さもあります。

日々、私たちが何気なく使っている言葉も、同じです。慌ただしく過ごしていると、ついつい見過ごされてしまうこともあるかもしれませんが、「日常の生活でも言葉は大切に」したいものです。



●文字でのコミュニケーションは楽しい。ただし、言葉えらびには、注意が必要●

皆さんのよく使っているLINEなどのSNSは、言葉を使った便利なコミュニケーションツールの1つです。ただし、話している相手が目の前にいない「文字での会話」では、誤解を生じさせてしまうことがあります。1年生のオリエンテーションでもお伝えした、少し注意が必要なAさんとBさんとCさんのLINEでの会話例を紹介します。

A : 今度、おかげ横丁にいこうよ!

B : いいな、私も行きたい。

C : 何で来るの?

Cさんは、『自転車で来るの?それとも電車?』というような質問をしたかったところ、何気なく『何で来るの?』という言葉を使いました。文字だけでのコミュニケーションの場合『何で来るの? = どうしてBが来るの?』とBさんに読み取られてしまい、Bさんに誤解で辛い思いをさせてしまうことが起こり得ます。LINEなど、文字でのコミュニケーションツールを使用する場合は、次のことを心に留めておいてください。

言葉を送信する側

できるだけ 誤解が生じにくい言葉えらび を心がける。

言葉を受信する側

え?!と感じる言葉を受信したときは、あわてず一呼吸。相手に「〇〇という意味なの?」と聞いてみる余裕も持っておく。

●直接会って交わす言葉の伝達力。お互いの気持ちがよくわかる●

人同士が、直接会って会話している時の「声の調子」や「顔の表情」は、相手の気持ちを知るためのとても大きな情報源です。大切なことを伝えたい時ほど、直接会って、会話をしましょう。もちろん、そのような会話の時でも、言葉えらびは、「自分の気持ち」と「相手への思いやり」を込めて行いましょう。

新しい春、自分の選んだ言葉で、新しい仲間と、たくさんの楽しい会話が弾むといいですね。

※著作権等の関係上、生徒に配布したものを若干変更して掲載しています。